

令和8年度 学校経営計画

I 学校教育目標

ともに育てよう みんな輝き 笑顔いっぱいの なばきっ子

(1) めざす学校像

- ◎児童・職員が毎日元気に登校できる学校
- ◎生き生きと自分らしく活動できる学校
- ◎笑顔で帰宅できる学校

- 安心・安全な学校
 - ・安全で生き生きと、安心して自分らしく活動できる環境の整った学校
 - ・元気よく運動や遊びをする子どもたちでいっぱいの学校
 - ・地域・保護者に信頼され、地域に根ざした学校

- 楽しい学校
 - ・わかる・できる・たのしいが実感できる学校
 - ・子ども理解を基にした、個に応じた指導・支援が展開される学校
 - ・互いに切磋琢磨して教師としての資質向上を図り、職務が責任遂行できる学校

- ふるさとを愛する子どもを育てる学校
 - ・子どもたちが、地域の良さを体感できる学校

(2) めざす児童像

- ◎【か】かしこい子 (よく考え、ともにのびる子ども)
- ◎【が】がんばる子 (たくましく、未来を拓く子ども)
- ◎【や】やさしい子 (思いやりがあり、助け合う子ども)
- ◎【き】郷土を愛する子 (ふるさとに誇りをもつ子ども)

(3) めざす教師像

- ◎子どもを大切にする教師
- ◎授業を大切にする教師
- ◎チームワークを大切にする教師
- ◎保護者、地域との連携を大切にする教師

2 学校経営の方針

(1) 基本原則

- ・全ては「子どものためになるか」を基準に判断する。
- ・問題は「チーム南白亀」で対応する。

(2) 教育は人なり

- ・人間性を高め、自己を磨き上げる。
- ・チャレンジ、成長、貢献し続ける。

(3) 環境が人を育てる

- ・安心・安全（心理的・身体的）、美しく落ち着いた学校環境をつくる。
- ・互いに助け合い、認め合い、明るい雰囲気とチームワークのとれた職場環境をつくる。

(4) 地域に根ざした学校を目指す

- ・保護者や地域に愛され、信頼にこたえる学校をつくる。
- ・ふるさと白子の特色ある活動を行い、豊かな人間性と生きる力を育む。

3 経営の重点

(1) 豊かな人間性の育成

- ① 学級経営の充実。学級活動を通じた望ましい集団づくり。
- ② 「特別の教科 道徳」を中心とした道徳教育の充実。
- ③ 心を育てる環境づくりの推進。

(2) 生徒指導の充実

- ① 自己肯定感、自己有用感、他者受容感を高める活動の充実。
- ② いじめの未然防止・早期発見・早期対応。
- ③ 人権意識の向上、規範意識の醸成、命を大切に作る心の育成。
- ④ 教育相談活動の充実。

(3) 確かな学力の育成

- ① UDの視点を取り入れた授業改善。（『思考し、表現する力を高める』実践モデルプログラム」の活用）
- ② 個に応じた指導・個をいかす指導の充実。
- ③ 課題解決の場の工夫。（協働）

(4) 健康・安全教育の充実

- ① 学校全体で児童の体力向上。（ロング昼休みの活用・外遊びの励行）
- ② 危険を予測し、回避する能力を高める指導。（じぶんの命はじぶんで守る）
- ③ 危機管理マニュアルにそった指導および対応の徹底。

(5) 教職員の指導力の向上と協働体制の確立

- ① 年間を見通した具体的な目標を設定と、自己評価。（目標申告シートの活用）
- ② 若年層研修会の充実。
- ③ 報告・連絡・相談の徹底。
- ④ 不祥事防止の徹底。（不祥事根絶研修会の活用）

(6) 「ふるさとに誇りをもつ子どもを育てる学校」づくりの推進

- ① 地域の人材の積極的に活用。
- ② 保護者の来校機会を多く設け、相互理解や意思疎通に生かす。
- ③ 各種たよりやHP等を活用した情報の発信内容の充実。

(7) 働き方改革の推進

- ① 年間を見通した具体的な目標を設定と、自己評価。（目標申告シートの活用）
- ② 情報の共有・課題の共通理解・協働の意欲・コミュニケーションの推進による働きやすい職場環境の構築。
- ③ モラールアップ委員会を活用した同僚性の向上。